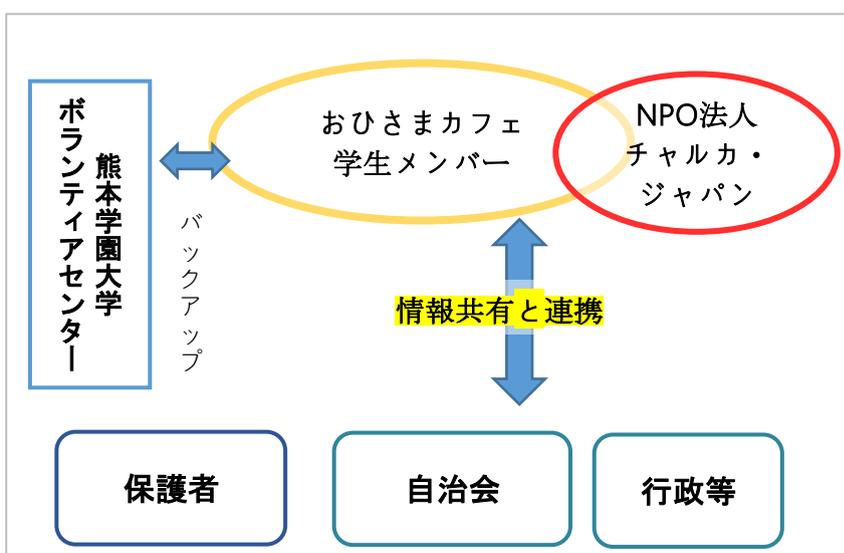


活動名	おひさまカフェプロジェクト2017	団体名称	NPO法人チャルカ・ジャパン
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	⑦自然災害で被災した子供を支援する活動
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
熊本県益城町テクノ仮設A集会所にて、基本的に毎週土日、こどもを中心としたカフェを開催。こどもの健全な育成とその親たちの心のケア、問題解決のサポートを行う。		2017.9~ 毎週土・日曜日	10:00-16:00おひさまカフェ営業 学生による子供の遊び相手、読み聞かせ、親の心のケア、相談相手を開催 不定期で、他の団体等によるイベントを併催
■活動目標	熊本県益城町テクノ仮設A集会所にて、基本的に毎週土日、こどもを中心としたカフェを開催。こどもの健全な育成とその親たちの心のケア、問題解決のサポートを行う。		
■長期成果	出来る限り初期段階で支援を開始することで、家庭の崩壊や、児童の不適切な進路決定や育児放棄を予防し、将来、自立した人間に成育するきっかけづくりをめざしている。仮設住宅内という性質上、徐々に利用者数が減少してゆくため、数値的には逡減する成果となるが、一人でも自殺、いじめ、不登校などから救えればその価値は大きいと考える。		
■活動風景			
			
月1回おひさま食堂を開催 食を通してのコミュニケーション		熊本学園大学で保護者・学生向けに 発達障がい児の講座を開催	
			
		ハロウィンイベントも開催	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>【上期の成果】 DVを受けていた児童を自治会等との情報共有によりDVが行われなくなった。その他、児童への言動を学生からも指導させるようにしたところ、徐々に悪い言葉を使わなくなってきた。</p> <p>【下期の改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援学生の参加が少なくなってきたのと、仮設住宅の居住期限も近づき、徐々に引っ越しする世帯も増えてきており、その対応を検討する必要がある。 月1回開催しているおひさま食堂をもう少し保護者側の参加を促したい。 ピーク時516世帯居住していたテクノ仮設団地だが、2018年3月現在410世帯位まで減少し、4月以降退去予定家族が増えてきている。そのため、3月下旬にバスハイクを企画し、思い出作りをおこなう。 		 <p>おひさまカフェをととして、行政が不得手の横の連携を行い、親や子の孤立を防ぐ目的も今回のフェーズには含まれています。</p>	
〒 818-0101 (住所)福岡県太宰府市観世音寺5-2-33 (団体名)NPO法人チャルカ・ジャパン (ホームページ)http://www.charkhajapan.org/		助成金額 500,000円	
		助成期間	
		H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。